

## 仙人通信 207 岩殿山(653m)

岩殿山は、JR中央線大月駅の北側に位置し大きな岩稜で、山梨100名山・秀麗富嶽12景の8番の山でもある。一方戦国時代の小山田氏の居城であった事でも有名な山である。

岩殿山公園駐車場に車を置き岩殿山から稚児落しまでの稜線を歩く事としました。駐車場横の国道139号に沿って進むと、丸山公園入口にある案内板に崖崩れの為、山頂へは畑倉(1.6km先)からとある。20分程国道を歩くと、橋の手前に赤鬼の書かれた鬼の岩屋(岩殿山登山口)の標識である。小さな沢沿いを5分程登ると、大きな岩が横に大きく割れ開いた鬼の岩屋だ。その後尾根筋であるも百蔵山が川向うに見える尾根の東側が主体である。静かな山歩きではあるが、時折雄鶏が雄叫びを上げる和香なコースだ。水分を含んだ赤土に枯葉と木の根の続くかなりキツイコースであるも赤い3mm程の実を付けたセンリョウが綺麗だ。落葉樹の道を35分程でアンテナの立つ燧火台で、山頂までの5分程の間は、本丸跡・馬場跡・屋敷跡等の居城の名残が覗える。山頂からは九鬼山を南に丹沢・道志・富士山・御坂の山脈が見事だ。眼下には中央高速・大月駅・桂川に沿った街並みだ。北側には雁の腹摺り山等も梢越しに望めた。今までに登った山をコンパスと地図で確認出来ました。ここからは、垂直に立った岩に沿って稚児落しへと向かう。

直立した岩であるが、小さな小石を含む砂状の緑色凝灰岩で、海底にあった頃に堆積した物が、丹沢等の山脈が南から押し寄せて来た時に岩壁状に競り上がったものらしい。

20分程下降した地点の鞍部には送電線の鉄塔があり、垂直に立った岩尾根の林側を小川山や三つ峠を見て進む。鎖場等を抜け10分程で、鎖場コースと林間コースの分岐である。林間コースを採るも、沢頭をロープや鎖で通過だ。30分程で祠のある天神山である。開けた南面は岩壁の上で、山脈に囲まれているも電車や車の音が聞こえ、不思議な感覚だ。10分程で送電線の鉄塔を越え、岩稜を進むと見事な岩肌をもつ稚児落しが目の前に迫る。15分程で稚児落としの山頂である。小金沢連峰から岩殿山までの南面の山脈を楽しみ、のんびりと休憩を取る事ができた。鎖場の続く林の中を約30分掛けて浅利地区に下山し、更に浅利川沿いの県道を40分程歩き駐車場に戻った約4時間(17500歩)のスリルに満ちた山旅となりました。

(R2、10、29)

鬼の岩屋



岩殿山



岩殿山山頂



稚児落し



岩殿山山頂から

